

## 表 題 : コミュニケーション5(コミュニケーション2の改訂版)

宛 先 : 全参加者

発行日 : 2024/10/17

発行時間 : 19:30

発行元 : 大会組織委員会

文書番号 : 4.05

ページ数 : 2

1/2

## 技術委員会からのお知らせ(公式車検、その他)

- 公式車検場への車両持込みは、部外者の入場を防止するため1台の車両辺り最大2名までとする。また担当者であることを確認出来るクレデンシャルカード等を持参すること。
- リストラクター計測、シーリングについて。ターボチャージャー付き車両のリストラクター計測は、競技出走後の再車両検査時に行う。公式車検時は封印タグの確認又はタグの新規取付けのみとする。尚、競技中のサービスにおいてスペアのターボチャージャーに交換する場合、技術委員立ち合いのものと使用済ターボのリストラクターを計測し、新規取付けターボのリストラクターを新たに封印する。
- 公式車検時間について  
受検時間を下表の通りとする。

グループ	カーナンバー	検査時間	備考	台数
1	1~5	10:00~10:30	JN-1	5台
2	6~10	10:30~11:00	JN-1	5台
3	11~15	11:00~11:30	JN-2	5台
4	16~21	11:30~12:00	JN-2	6台
		12:00~12:30	休憩	
5	22~27	12:30~13:00	JN-2 JN-3	6台
6	28~33	13:00~13:30	JN-3	6台
7	34~39	13:30~14:00	JN-3 JN-4	6台
8	40~46	14:00~14:30	JN-4 JN-5	7台
9	47~53	14:30~15:00	JN-5	7台
		15:00~15:15	休憩	
10	54~61	15:15~15:45	JN-5 JN6	8台
11	62~71	15:45~16:15	OP-2 OP-1	10台
12	72~80	16:15~16:45	OP-1	9台
		16:45~17:00	予備時間	

※排気ガス計測、車重計測、ロールケージ検査、シートベルト検査が不適合となった車両は、修正後再び検査ラインに並び直すこと。その場合の入場は随時とする。

※車重計測では、RRN車両はスペアタイヤを1本搭載し、それ以外の車両はスペアタイヤを除きヘッドライト以外の補助灯を取り外すこと。

※検査にて指摘された不適合箇所の修正が車検時間内に終了しない場合、技術委員長まで申し出ること。

※指定された検査時間に受検出来ない場合、技術委員長又はCROまで連絡し対応を仰ぐこと。

※受検には車検証の他車両公認書、ロールケージ公認書、車両解説書又はカタログ等を持参し、技術スタッフの求めに応じる用意をすること。

※受検車両のタイヤは競技出走用タイヤ、又は同サイズのを装着すること。

※受検にあたっては検査業務を円滑に行うため指定時間を厳守すること。

※やむを得ずバラストを搭載した場合、車検終了前に申告し封印を受けること。(RPN車両、AE車両はバラストの取り付けが許されない)

4. リスタート申請を提出した車両について、整備終了後の車両検査はDay1の17:30まで、又はDay2の6:00~6:30の間とする。リスタート車両の再検査は申請各車のパドックにて行う。検査適合後はバルクフェルメエリアに入場させること。
5. サービスパーク内の車両整備について、規則書で許されている申告を必要としない軽整備以外は技術委員長に対し整備申告書を提出すること。申告書の提出はサービスパーク内を巡回する技術委員を介することも可能とする。整備の終了した車両の申告書は、完了後技術委員長まで返却すること。
6. JN-1クラスの車両において、各セクションのスタート前に燃料補給の必要が発生した場合、チーム責任者は技術委員長に対し給油の申告をしたうえで、必ず指定されたエリアにて行うこと。その場合チームは、2024年FIA地域ラリー選手権規則第58条に従って消火器を準備し、サービス員1名が緊急事態に備えること。
7. タイヤマーキングが必要な各セクションのスタートにおいて、作業時間の短縮と安全性向上のため、スペアタイヤのマーキング時にチーム員1名又はコドライバーがマーキング作業の補助をすること。
8. 公式車検場のレイアウトを下図の通りとする。



※改定理由: 8. レイアウト図内の②、③を取り消した